

1. 科目名 (単位数)	生活 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3383
2. 授業担当教員	杉山 憲江		
4. 授業形態	講義、実習、グループ学習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	教科「生活」の新設から今改訂までの学習指導要領の変遷について学ぶとともに、新学習指導要領の目標や内容、基本的方針など理解を深め、幼児期から児童期へのスムーズな移行を意図していることに気付き、「遊び」「基本的生活習慣」を基にその連関について考察する。そして、生活科学学習内容項目について理解したうえで具体的な教育課程や指導案展開の活動事例を構想する。さらに、グループワークやディスカッションの学習や実践的体験活動を通して子どもの気づきを大切にした教師側の声の掛け方や支援・地域環境や幼児・児童等の発達段階に応じた生活科教育のあり方を考え、それらの学習を基にして、教科「生活」を横断的・系統的視点から他教科等との関連・総合学習との関連・幼児教育との関連について学んでいく。		
8. 学習目標	1. 教育課程における生活科の位置、子ども観、生活科の目標、学習内容について理解し、説明することができる。 2. 具体的な体験学習を通じた生活科学のあり方について理解し、説明できる。 3. 生活科の指導計画や活動展開について構想し、表現することができる。 4. 生活科と幼児教育の連続や関連性について具体的に考えることができる。 5. 総合的な教科としての特性を理解し、説明できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題 1 「幼児教育と生活科の関連性について」の論説文を作成する。 課題 2 植物・動物を教材として扱う場合の基礎的・基本的知識の定着を確認する。(飼育・栽培・遊び・情報) 課題 3 公共施設(公園・公民館・博物館・駅など)の体験を基にして活動展開事例(A,B)を構想し、発表しあう。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省編『小学校指導要領(平成 29 年告示)解説 生活編』 東洋館出版。平成 30 年 2 月 文部科学省編『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館。H30 年 3 月 【参考書】 検定教科書『あたらしいせいこく 上下』 東京書籍。 田村学編著 H29 年版『新学習指導要領の展開 生活』 明治図書 2017 年 国立教育政策研究所『幼児期から児童期への教育』 H29 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生活科の目標や内容、特徴を理解できているか。 2. 生活科の目標や内容、特徴を理解した上で、自分なりの意見や考えを表現できているか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極性(発言等) 総合点の 20% 2 日常の学習状況(出席・提出物) 総合点の 30% 3 課題レポート(中間・期末) 総合点の 50%		
12. 受講生へのメッセージ	この授業の目標である幼児教育と生活科の関連性について体験・視覚・ディスカッション・フィールドワークなどを通して興味・関心を持って取り組めるよう楽しい授業を創意工夫します。学習を通して人間性・専門的技術を備えた教師を目指し日々自己研鑽に励んでください。さらに、演習・実習における準備などをしっかり行い、授業課題に対する積極的な取組みを期待します。		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	・オリエンテーション(シラバス説明・課題説明など) ・生活科新設(H1 年改訂小学校学習指導要領)の背景生活科変遷について(H11 年・H23 年改訂小学校学習指導要領・H29 年告示小学校学習指導要領)の概略を理解する。	事前学習	シラバス・学習準備について書き込める予定表を準備し臨むこと。
		事後学習	学習日程・学習内容・学習準備について確認し、学習の見通しを持つ。
第 2 回	・幼児教育における発達段階の把握と幼児教育のねらい 幼児教育と小学校教育との関連性と連続について	事前学習	「学習指導要領解説」 pp1~7 を読み、生活科の変遷の概略を理解しておく。
		事後学習	生活科の教科としての意義をまとめ、自分の言葉で文章化しておく。生活科とは 1
第 3 回	・生活科の教科目標及び学年目標を学習し学習内容の三層の内容構成から生活科の学習特性について ・幼児教育と生活科活動の内容との関連点と相違点について	事前学習	「学習指導要領解説」教科目標 pp. 8~28 「幼稚園教育要領解説」 pp. 26~45 を読み、授業に臨むこと。
		事後学習	教科目標を基に生活科の特性の理解を図る。
第 4 回	生活科における学習の内容項目 1 (学校と生活) 内容項目 2 (家庭と生活) 内容項目 3 (地域と生活)の学習内容を理解してどんな学習展開が考えられるか構想する。	事前学習	「学習指導要領解説」学習内容項目 pp. 29~35 幼稚園教育要領解説第 1 章第 2 節幼児の終わりまでに育ってほしい姿を読み授業に臨む。
		事後学習	学習内容項目 1.2.3. についてのポイントや授業を通して構想した活動展開事例をまとめておく。

第5回	生活科における学習の内容項目4(公共物・公共施設) 内容項目5(四季の変化 春) ・安全に楽しい活動をさせるにはどう指導支援の計画を立てたらよいか構想作成する。 直接体験から生まれる子どもの気付き①	事前学習	「学習指導要領解説」pp.36～42 内容項目4.5.6を読む 公共施設(公園・公民館・博物館・駅など)のフィールドワークをして授業に臨むこと。
		事後学習	フィールドワーク経験を基にねらいを明確にした活動展開事例案Aを推敲し提出する。 活動展開事例案A 2
第6回	生活科における学習の内容項目7(栽培・飼育)について ・飼育、栽培(小動物・魚・虫・水生生物・花や野菜の栽培) 知識と指導支援方法の理解①	事前学習	「学習指導要領解説」pp.43～46を読み、内容項目7の活動内容を確認し授業に臨む。
		事後学習	資料を基に飼育・栽培活動の学習指導に対する知識を確認しておく。
第7回	学習の内容項目7(飼育)における支援指導について ・動物との関わりにおいて子どもたちにどんな支援指導が必要か考察していく。	事前学習	ウサギ・やぎの生態について調べ授業に臨むこと。
		事後学習	飼育学習体験における指導支援の留意点をまとめておく。
第8回	幼児期の生活経験のあり方や必要性について。 ・幼児教育における探検遊び ・基本的生活習慣の支援 ・幼児教育と小学校教育の評価の仕方の違いに視点を当て幼児教育との関連性を学ぶ。	事前学習	「幼稚園教育要領解説」pp.90～93 読み、授業に臨むこと。
		事後学習	基本的生活習慣を身につけることに視点をあて、幼児教育と生活科学習の関連性を自分の言葉で文章化する。生活科学習の評価の方法についてポイントを掴んでおく。
第9回	生活科における学習の内容項目6について ・遊び(植物で遊ぶ・自然で遊ぶ・動くおもちゃ・昔の遊び) 知識と指導支援方法の理解②	事前学習	「幼稚園教育要領解説」pp.26～40を読み、授業に臨むこと。
		事後学習	資料を基に遊びの学習に対する知識を確認しておく。
第10回	生活科における学習の内容項目6について ・直接体験から生まれる子どもの気付き2 (子どもの興味や意欲を育てる教師側の関わりや支援) ・遊び体験 遊び環境や教材としての遊びの扱いなどを深めていく。	事前学習	「学習指導要領解説」pp.41～43 内容項目6を読み、活動内容を確認して興味や意欲を持たせる工夫をした遊びの準備をして授業に臨むこと。
		事後学習	遊び体験における学習活動について指導支援の留意点をまとめておく。
第11回	生活科における学習の内容項目8(人との交流) 9(自分の成長) ・情報(収集の方法・伝えあいの方法) 知識と指導支援方法の理解③	事前学習	「学習指導要領解説」pp.46～51 内容項目8・9 さらにpp.94～99の学習指導について読み、授業に臨むこと。
		事後学習	授業内容と資料を基に活動の発表や表現について整理しておく。
第12回	生活科における学習の内容項目4(公共物・公共施設) 内容項目5(四季の変化 秋) ・安全で楽しい活動・四季の変化を感じる活動をさせるにはどう指導支援の計画を立てたらよいか構想作成する。 直接体験から生まれる子どもの気付き②	事前学習	「学習指導要領解説」pp.29～32 内容項目4.5.6を再度読みなおしておく。公共施設(公園・公民館・博物館・駅など)の変化を感じる場や新たな場を選び、フィールドワークをして授業に臨むこと。
		事後学習	フィールドワーク経験を基に季節感をもたせる活動の展開事例案Bを構想する。 活動展開事例案B 3
第13回	生活科・他教科・総合的な学習の時間との関わりやつながりについて ・系統的視点(幼児保育→生活科→総合学習・社会・理科) ・横断的視点(国語・音楽・体育・道徳・図画工作⇔生活科) ・スタートカリキュラムの編成について	事前学習	「学習指導要領解説」pp.78～83を読み、授業に臨むこと。
		事後学習	他教科との系統性・横断的な関わりについて自分の言葉で文章化しまとめておく。 生活科の系統的横断的視点から4
第14回	幼児教育と生活科学習の連続性と教科「生活」の展望1 ・幼児教育における基本的生活習慣の確立が基盤となっていることについて動機づけの観点から考える。 ・幼児期の基本的生活習慣についての必要性和方法を考え生活科の中でどう生かしていくのか連続性を考察する。	事前学習	「幼児期から児童期への教育」pp.61～70 「幼稚園教育要領解説」pp.90～93を読み、授業に臨むこと。
		事後学習	幼児教育と生活科学習の連続性について自分の言葉で文章化しまとめておく。
第15回	幼児教育と生活科学習の連続性と教科「生活」の展望2 ・幼児期の遊び体験が生活科の学びの基盤になっていることについて ・「遊び」を中心とした幼児期の学びを生活科学習の中でどう活かしていくのかその関連性を考察する。	事前学習	自分のまとめた文1～4を読み直して授業に臨むこと。
		事後学習	課題1「幼児教育の保育内容と生活科学習内容との関連性」についてまとめておく。 幼児教育と生活科の関連性5